

2009年(平成21年)8月21日 金曜日

沖繩協会の演奏会

### ベートーベンの 激しい情熱表現

沖繩協会が演奏会

沖繩ベートーヴェン協会  
(田幸正邦会長)の第7回演  
奏会が16日、うるま市民芸術  
劇場響ホールで開かれ、心地  
よい音色を響かせた。

第1部は「イオリン・ソナ  
タ第9番」長調作品47「クロ  
ツェル」。パイオリは永  
山 謙江、ピアノは永山 哲男。  
ほどほじるような激しい情熱  
を表現し、二人はまるで対話  
するように演奏した。

第2部では歌曲「ラズナイ  
子変口長調作品46」、歌曲「遥  
かなる愛する人に寄せて変ホ  
長調作品98」を演奏。泉恵得  
が歌い、ピアノをウイソビ

ートーヴェン協会のスザン  
ネ・リッテナウアーが奏で  
た。泉の語りかけるように、次  
第に力強くなる歌に、リッ  
テナウアーのピアノが響け込  
む。感情がわき出るような音  
楽を聴かせた。

最後はリッテナウアーが、  
「ピアノ・ソナタ第8番」短  
調作品13「悲愴」ピアノ・ソ  
ナタ第14番「八短調作品1

2月光」を演奏した。イン  
クトにある悲しいメロディ  
から始まり、ベートーベンの  
秘められた心を表現。エネル  
ギッシュに、そして悲しさを  
も併せ持つ音を響かせた。



感情込めて歌う泉恵得  
(右)とピアノのスザンネ  
・リッテナウアー  
うるま市民芸術劇場響ホール